

蕨崎市地震防災マップ ……地域の危険度マップ……

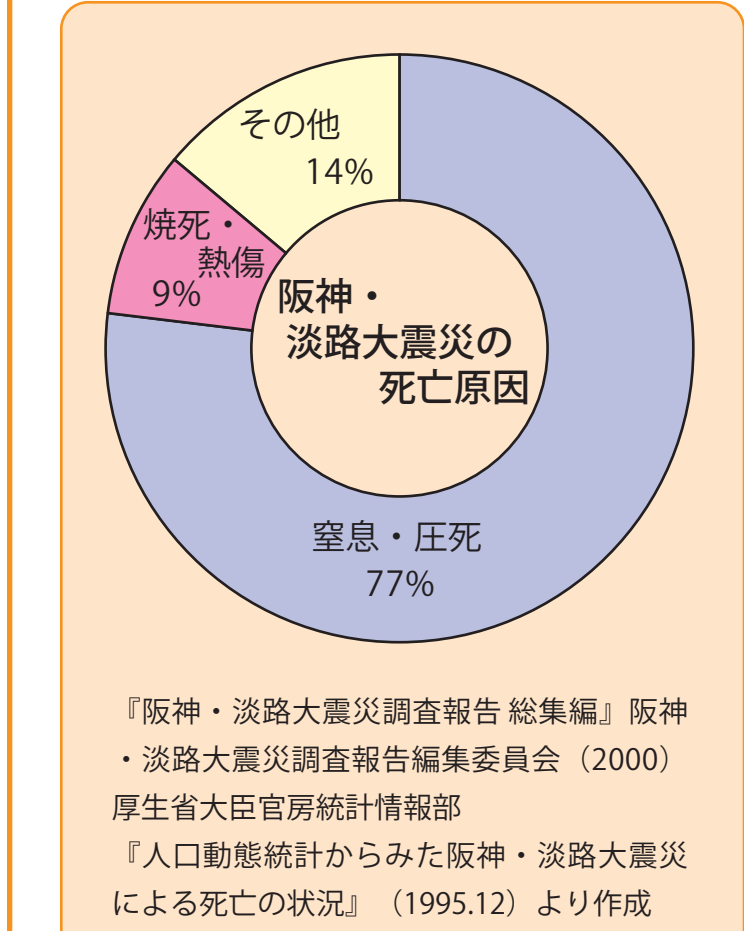
地域の危険度マップは、地震の揺れによる建物被害発生の危険度分布を相対的に示したもので、「揺れやすさマップ」の揺れによって建物が全壊すると予想される割合を「危険度」として表示したものです。

恐ろしい家屋の倒壊



木造建物被害の例（平成19年7月新潟県中越沖地震）

地震による死亡やケガの原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒による「窒息・圧死」であり、阪神・淡路大震災での死者の約8割を占めていました。



住宅用火災警報器

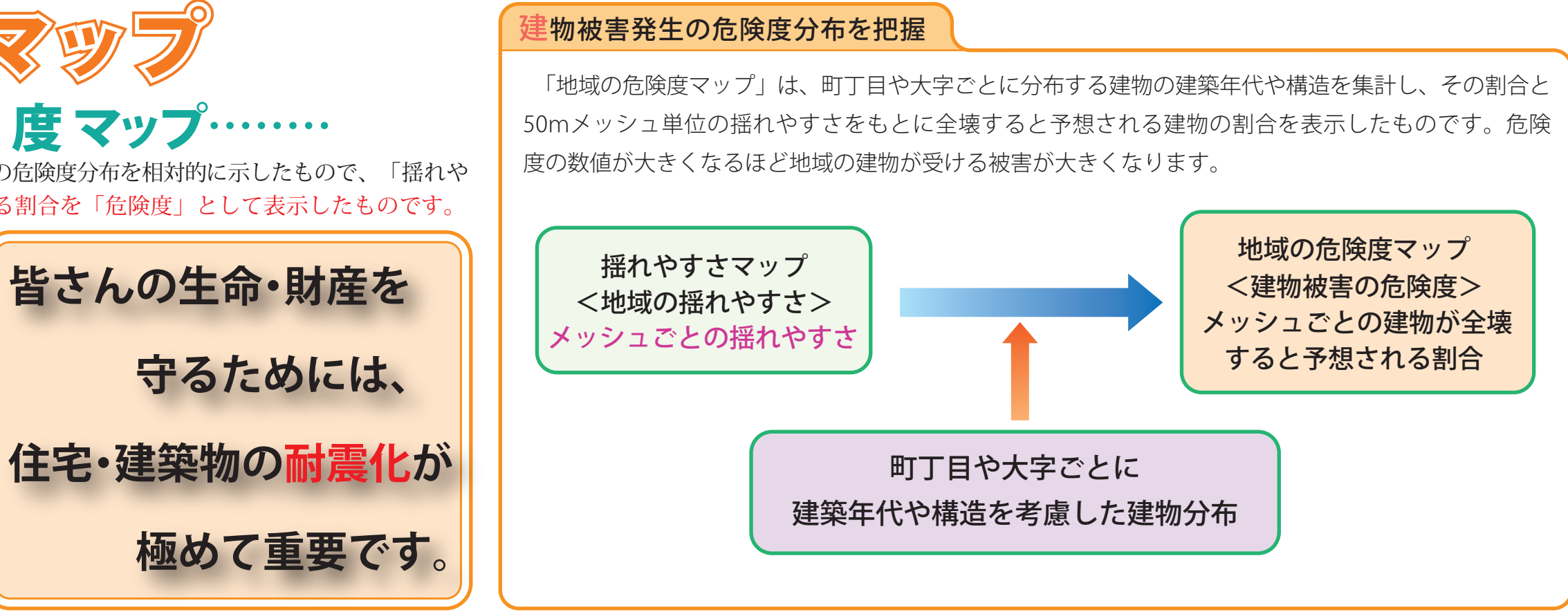
火災警報器は、平成23年5月31日までに設置することが義務付けられています。

新築、既存にかかわらず全ての住宅に、その関係者（所有者、管理者又は占有者）が設置する義務があります。

火災の発生を未然にあるいは早期に察知し、大切な命を火災から守りましょう。



番号	避難所名称	対象地区名	所在地
1	蕨 崎 小 学 校 蕨 崎 児 童 セ ン タ ー	五丁目、下谷、中谷、二丁目、旭町、天神町、日の出町、黒河原、一丁目	本町二丁目 2-41 本町二丁目 1-7
2	蕨 崎 高 等 学 校	一丁目、水神町、若宮町、西町、中島町、富士見ヶ丘、岩下、上ノ山、アザミ谷、上祖母谷、下祖母石、祖母石市営団地、祖母石雇用促進住宅	若宮三丁目 2-1
3	穂 坂 小 学 校	宮久保、黒の小池、三之坂、宮久保、柳平、上井、長久保	穂坂町宮久保 6121
4	穂 坂 公 民 館	穂坂郷	穂坂町宮久保 6196-1
5	蕨崎中越沖水防センター	中越二区	中田町中修 1800-1
6	中 田 公 民 館	中越三区	中田町中修 490-1
7	穴 山 公 民 館	黒久	穴山町 4914-1
8	蕨 崎 北 東 小 学 校	柳井、中修一、西区、小田川五、六区、石水、伊藤保、夏目、次郎山	柳井町柳井 1912
9	蕨 崎 市 文 化 ホ ー ル	給見堂、鳥原、上野、坂井、北下修、道下、岩下岩根	柳井町坂井 205
10	蕨 崎 東 中 学 校	上ノ原、榎沢沢、日之崎、雨下修、相修、黒の池、上ノ原団地、サンジョ、ボラス藤井、県営蕨崎穂坂団地	柳井町南下修 371
11	内 野 公 民 館	宇波内井	戸野町下内井 1199-3
12	清 野 公 民 館	中谷	清野町青木 2309-1
13	北 西 児 童 セ ン タ ー	青木下	清野町青木 1078-1
14	蕨 崎 北 西 小 学 校	上内井、下内井、入戸野、新原、青木上、おりい台、三ツ石組、下内井戸野住宅	清野町青木 193-1
15	蕨 崎 西 中 学 校	御杉、武田、北宮地、鎮山、鎮山北、北宮地、山口、鎮山北、北宮地、山口、鎮山北	神山町鎮山 1-1
16	旭 公 民 館	宮下、小曾根	旭町上修北割 3879-1
17	甘 利 小 学 校	飯沼屋、山寺、竹の内、久保、藤井、飯沼屋、すずらん団地、羽根、西の割、町屋、羽根屋	大草町上修東割 821-1
18	蕨 崎 工 業 高 等 学 校	岩城、野庭新田、坂の上、石室、越通、雇用促進住宅、竜岡、みだりスカイタウン、竜岡サンプレーズ、若尾東田住宅	竜岡町若尾新田 50-1
19	竜 岡 公 民 館	竜岡	竜岡町下修南割 1007
	竜 岡 体 育 館	竜岡	竜岡町下修南割 1007

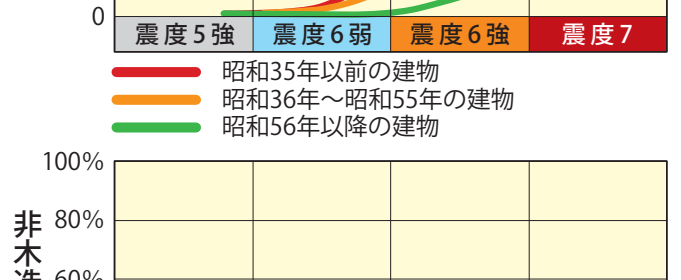
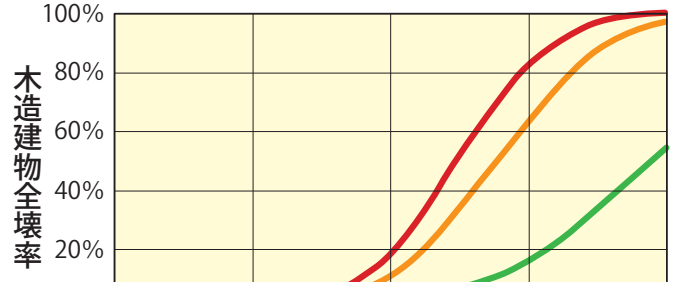


地域	危険度 6	危険度 5	危険度 4	危険度 3	危険度 2	危険度 1
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	20%以上30%未満	10%以上20%未満	7%以上10%未満	5%以上7%未満	3%以上5%未満	3%未満

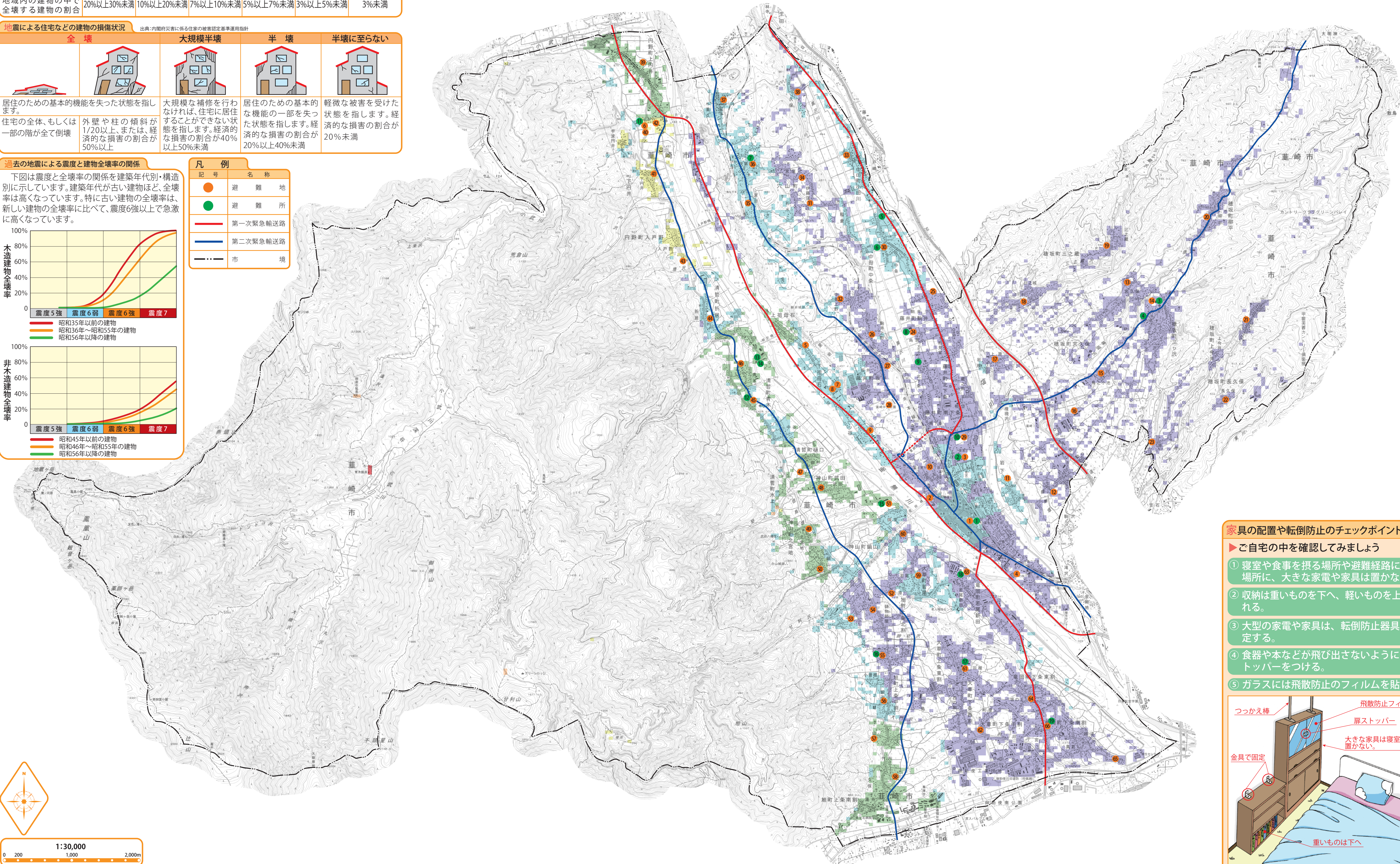
全 壊	大規模半壊	半 壊	半壊に至らない
居住のための基本的機能を失った状態を指します。住宅の全体、もしくは外壁や柱の傾斜が1/20以上、または、経済的な損害の割合が50%以上	大規模な補修を行わなければ、住宅に居住することができない状態を指します。経済的な損害の割合が40%以上50%未満	居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指します。経済的な損害の割合が20%以上40%未満	軽微な被害を受けた状態を指します。経済的な損害の割合が20%未満

過去の地震による震度と建物全壊率の関係

下図は震度と全壊率の関係を建築年代別・構造別に示しています。建築年代が古い建物ほど、全壊率は高くなっています。特に古い建物の全壊率は、新しい建物の全壊率に比べて、震度6強以上で急激に高くなっています。



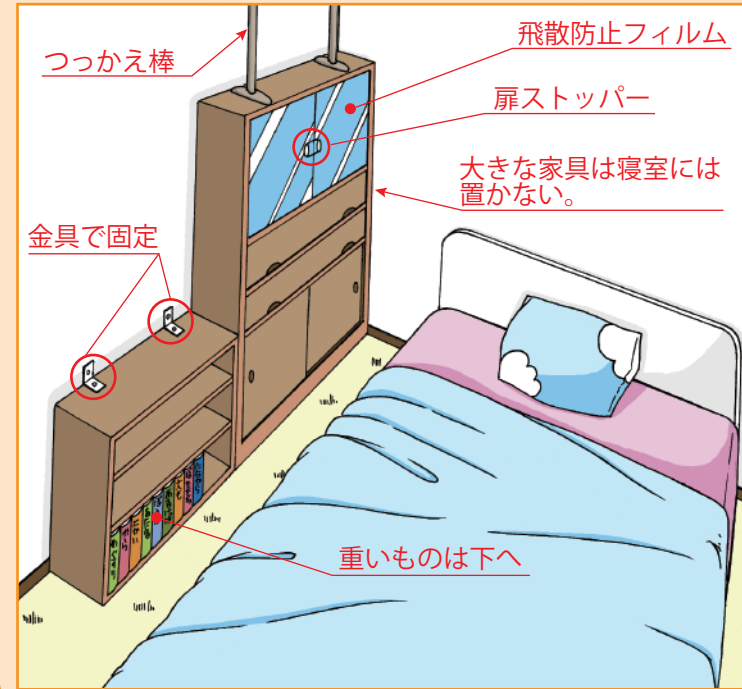
記 号	名 称
○	避 難 地
●	避 難 所
—	第一次緊急輸送路
—	第二次緊急輸送路
---	市 境



家具の配置や転倒防止のチェックポイント

▶ご自宅の中を確認してみましょう

- ① 寝室や食事を摂る場所や避難経路になる場所に、大きな家電や家具は置かない。
- ② 収納は重いものを下へ、軽いものを上に入れる。
- ③ 大型の家電や家具は、転倒防止器具で固定する。
- ④ 食器や本などが飛び出さないように扉ストップャーをつける。
- ⑤ ガラスには飛散防止のフィルムを貼る。



地震に備えた建物の耐震化

ご自宅の耐震性について確認してみましょう。

- ① 建てたのは昭和56年(1981年)5月以前である。
- ② 過去に浸水、火災、車の突入事故などに見舞われたことがある。
- ③ 壁や基礎にひび割れがある、傾いているのがわかるなど老朽化している。
- ④ 建物の平面の形状や、偏って大きな窓があるなど耐震性に関わる問題がある。

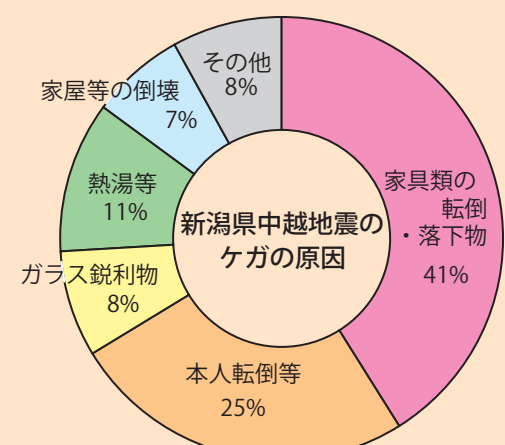
一つでも当てはまれば、建築士等に相談してみましょう。

本市では、①に該当する木造住宅に対して、耐震診断を実施しています。また、耐震診断の結果、耐震性が不足する住宅の耐震改修、建替、耐震シェルター設置工事への補助を行っています。詳細は、蕨崎市建設課までお問い合わせください。

お問い合わせ先 蕨崎市 建設課
 電話：0551-22-1111（代表） E-mail：kensetsu@city.nirasaki.lg.jp

家具や家電製品の地震対策も忘れずに

住宅の倒壊を免れても、タンスなどの家具が転倒、テレビや電子レンジが飛び、ガラスが砕け散るなど、何気ないものが一瞬にして凶器に変わります。新潟県中越地震によるケガの原因の4割以上が家具類の転倒・落下物といわれています。また、ケガすることで避難行動に大きな支障がでることがあります。



『新潟県中越地震における人的被害に関する現地調査結果』東京都消防庁（2004）より作成



『阪神・淡路大震災展示写真』より